

情報教育

情報教育選修を新設することになった理由・経緯について教えてください。

小学校の先生にも、コンピュータを使って授業をする、生徒にコンピュータのことを教える、通信簿や学級だよりをつくるといった校務にコンピュータを使う、という能力が求められています。それが、いわゆる「教育の情報化」という言葉でいわれています。校務でコンピュータを使うことによって時間が短縮され、それだけ子どもと接する時間をつくらることができます。そして、子どもにコンピュータの使い方、もしくは、コンピュータ社会の生き方といった情報教育をすることは、これから必要になってきます。小学校の段階で

どれだけ学ぶ必要があるかといった問題はありますが、これからの社会ではだれでもコンピュータを使うことになりま

情報教育選修 加藤直樹先生



場面があるはず

です。学生も多くな

っているのだから、

学校でもちゃんと使

いや、その原理を教

えなければ、

と考

えてい

ます。それ

から、電子黒

板といったような機器を使って写真を見せるなど、コンピュータを使えば授業がもっとよくなるかもしれませ

ん。そういった意味で、授業でコンピュータを使うこと、コンピュータについて教えること、校務でコンピュータを使うこと、という教育の情報化が推進されているのです。

学芸大学の学生は、教育の情報化のことをしっかりと勉強しないで、そのまま教員になってしまっています。これからは、やはり卒業生全員が各教科の授業でコンピュータを使

ったり、コンピュータについて教えられるようになるってほしいと思っ

ています。ただ、教育の情報化のエキスパートとして、さまざまな授業でコンピュータを使う方法を考

えることや、他の先生に対する指導、小学校全体の情報教育の力キュラム作成などをできる教員はそれほど

多くは必要ありません。小学校に2人か3人いれば十分です。このニーズにこたえて教育の情報化の先頭に立てるような先生を育てるのがA類情報教育です。

K類国際教育・日本語教育がなくなってしまうのに対してJ類が残るのはどうですか？

やはり、高校の普通教科である情報

の先生は必要ですよ。教育の情報化にたけたエキスパートの先生が小学校や中学校に必要であることは注目されていますが、情報について

きちんと学んだことのない他教科の先生が教えているという現状もあり、

高校の情報

の先生を育てることも必要なことです。工学部の情報系学科でも免許が取れるので、そちらに任

せることもできるのですが、やはり教育系大学として高校情報の教員も

育てなければなりません。また社会で情報教育をする人材や、情報教育を研究する人材の育成も大切です。という意味でJ類を残しています。

どのような学生に入ってほしいですか？

もちろん子どもが好き、小学校の先生になりたい、というのは大前提です

よね。それから、コンピュータが好き

な人です。ただ、単にコンピュータを使うだけならあまり必要はない

のですが、先にも言ったように、教育の情報化のエキスパートになるためには、情報科学や情報工学の基礎を学ぶ

必要があります。そうするとどうしても数学のセンスが必要になってきます。こういった面もあり

ますが、それでも、コンピュータに興味があれば好きなこととして取り組めると思っていますので、ぜひ情報教育選修にきて、楽しくコンピュータで遊ばしましょう！

